

○本時に育成したい資質・能力

- ・図形の構成の仕方に着目して複合図形の面積の求め方を考え、説明している。〔思考力、判断力、表現力等〕
- ・複合図形の面積の求め方について多面的に考えようとしたり、よりよい求め方を考えようとしたりしている。〔学びに向かう力、人間性等〕

○本時のめあて

ふくぎつな図形の面積は、どうすれば求められるかな。

○本時の展開（めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画、ICTの活用方法等）

○二つの側面、三つのプロセスとの関係

二つの側面	三つのプロセス
A…主に文章や図、グラフから B…主に他者とのやりとりから	①…発見・蓄積 ②…分析・整理 ③…再構築
[A①] 既習事項から正方形や長方形面積の求め方を用いて複合図形の面積が求められることを見いだしている。 [A②] 課題の図形とこれまでに解決した図形を比べて共通点を見いだしている。 [B③] 課題の図形の面積の求め方を友達の表現と自身の表現と比べたり友達との話し合いを通して考えたりしている。 [A③] 簡潔・明瞭・的確の視点をもって複合図形の面積の求め方を説明している。	

①本時の課題を確認する（2分）

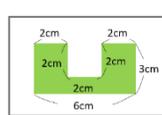
- ・本時までを振り返り「陣取りゲーム」で面積を比べるために、求める必要のある形を確認する。



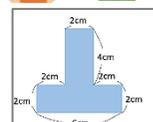
「陣取りゲーム」で取った面積を比べるために、求める必要がある形の面積を求めよう。

問題：どちらの図形の面積が、大きいかな？

この形なら、切ったら求められそうだな…



今日の図形は、カクカクしている。でも、この間の方法を使えばとけそうだ。



②めあてをもつ（2分）

ふくぎつな図形の面積は、どうすれば求められるかな。

③見通しをもつ（3分）

これまでの学習で見出した面積の求め方の方法を共有し、それを生かすことで解決できることを確認する。



長方形、正方形に分けられるかな？

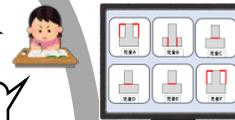
L字型の図形では、うめてあとから引く方法もあったよな！

④自力・協働解決（20分）

- ・同じ課題に取り組む児童同士で必要に応じて交流を促す。

縦に切って考えてみよう。
式は、 $\square \times \triangle + \square \times \star = \bigcirc$

同じ考えの〇〇さんはどう説明しているのか、聞いてみよう



なるほど！すごい！

ここに線を書き加えて、長方形からも考えることができるよ。

図形を横に切って考えると…
ここまでは大丈夫？



⑤中間交流

- ・それぞれの図形の面積を求めた方法を紹介し、よい説明の共有を図り、それぞれの考えの相違点・共通点を見つけ出す。

〇〇さんは、わたしと同じ面積を求めていたけど、正方形と長方形に分けて考えたよ。これだと計算が簡単だ！

〇〇さんは、式と図に番号をつけて説明していたよ。これだと説明が分かりやすい！！

どう分けたのか、見つけた図形（長方形・正方形）がかいてあったら伝わるかな。

これであっているかな？友だちはなんていうのかな。

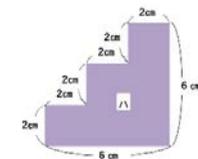
⑥学習をまとめる（3分）



○ふくぎつな図形の面積を求めるときも、長方形や正方形をもとにして考えると、面積を求めることができるな。

⑦適用問題に取り組む（7分）

- ・図形を提示し、陣取りゲームの勝敗をつける



⑧振り返りをする

今日の学びがあれば、〇〇の面積も求められそうだな。

説明するときは…

まず、次に、そして、図に示したように…

